

第2章 各主体の現状、課題と期待される役割

この計画においては、本県の生涯学習推進に関係する各主体について、現状と課題を分析した上で、期待される役割を明らかにします。

1 「家庭」

少子化や核家族化などにより家族の形が大きく変化しており、子どもを見守る目が減るなどして、子どもの教育について保護者、とりわけ母親の負担や不安が増えています。

【期待される役割】

- ・ 父親の子育てへの積極的な参加
- ・ 子育てサークルへの参加など地域における家庭教育支援策の活用
- ・ 経験を生かした子育て支援活動の実施

2 「団体・グループ」

社会教育関係団体、NPO法人、ボランティアグループ及び自治会などの地縁的組織が、地域の様々な課題解決に取り組んでいますが、加入者が減少している団体もあります。

【期待される役割】

- ・ 「新しい公」として地域の課題解決に貢献
- ・ 学習の継続と組織の活性化
- ・ 行政や他の団体・グループとの協働・連携

3 「学校」

学校は、生涯学習を進めるために必要な基礎的な学力を培う場であるばかりでなく、地域に開かれた学校として、地域の人々に学習の場や学習を生かす場を提供できる場所です。

【期待される役割】

- ・ 地域とつながり、地域と一体となった学校運営
- ・ 人材活用や育成による地域との交流の促進
- ・ 積極的な学校施設の開放

4 「大学等高等教育機関」

大学等高等教育機関は、その教育機能を社会人、とりわけ専門的な知識を必要とする職業人に提供する重要な機関となっています。また、地域との連携による活動が求められています。

【期待される役割】

- ・ 職業人・社会人への学び直しの機会提供
- ・ 地域の課題解決への支援、まちづくりへの参画
- ・ 図書館、体育館など施設の開放

5 「生涯学習関連施設」

公民館や図書館、博物館など生涯学習関連施設は身近に利用できる地域住民の学習拠点、活動拠点として大きな役割を果たしていますが、専門職員が減少している施設もあります。

【期待される役割】

- ・ 地域住民のニーズに対応した学習機会の提供
- ・ 社会参加しようとする人々への活動の場の提供
- ・ 専門的な知識を有する職員の配置・育成

6 「民間教育事業者」

カルチャーセンターなどの「民間教育事業者」は、趣味・けいこごとを始め、社会の変化に即応した講座、専門的、継続的な講座を提供しています。

【期待される役割】

- ・ 特色ある学習機会の提供
- ・ 大学等高等教育機関や生涯学習関連施設との連携・協力

7 「企業」

企業は、近年、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）への対応を進めています。従業員が子育てやボランティア活動、生涯学習等への取組を実現するには、一層の企業努力が求められます。一方、企業の社会貢献活動は、従業員の関心の目を地域に向けさせる貴重な学習機会になっています。

【期待される役割】

- ・ ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境づくり
- ・ ボランティア活動を通じた地域との絆づくり

8 「市町村」

市町村では、主として趣味・教養的な学習講座が多く開設されていますが、地域の課題解決に活躍できる人材養成講座等は多くないのが現状です。また、学習や活動を始められない住民もいます。

【期待される役割】

- ・ 生涯学習の普及啓発と地域住民の生涯学習ニーズの把握
- ・ 地域で活躍できる人材及び団体・グループの育成、活動拠点の提供
- ・ 団体・グループや大学等高等教育機関との連携・協働

9 「県」

市町村を始め関係機関において学習機会の提供や施設の整備が進んでいる中で、県では、こうした情報を一元的に県民に提供できる生涯学習情報システム「学びネットあいち」を運用するとともに、社会教育指導者等の人材育成を行っています。しかし、このような情報や人材は十分活用されているとは言えません。

【期待される役割】

- ・ 生涯学習情報システムへのネットワーク機関数の増などシステムの効果的な運営と、高度化する情報環境への対応
- ・ 市町村単独で実施しにくい講座の開設など市町村のニーズに対応した指導者の養成と研修
- ・ 関係機関相互のネットワーク化の促進